

2021年度の授業

グループワークでは、毎回グループを変更しました。これは、自分以外の様々な受講者の主張を理解するための仕組みでもありました。

受講者の感想

- ◆ 差別とマイノリティの授業を受けて 1 番大きく変化したことは、差別は常に自分も含めたあらゆる人の中に存在しているものだという認識が生まれたことだ。この認識によって、今まで感じていたことに違和感を持つことができた。今後もこの考え方を大切にしていきたい。（医学部1年生）
- ◆ この講義を通して、差別に対する関心が高まったように思う。これまで差別を自分と離れた特別なものとしてとらえてきたが、差別というのは日常的に当たり前存在するものであって自分自身も差別に関わっているということを学んだ。相手を理解することの重要性を学ぶと同時に、本質的に理解するということの難しさを感じた。講義では、多くの人の意見を聞くことを通して、自分の差別に対する視点を広げることができたように思う。（創造工学部1年生）
- ◆ 自分の差別的気意識について気づかされた。この授業をとっていなければ多分一生気づくことがなかったと思う。同じ本の同じ章を読んでも人それぞれ目の付け所は全然違って毎回の授業で、はっとさせられることがたくさんあった。自分の狭い視野を少しでも広げることができたように感じる。（法学部1年生）